

令和8年第2回 曾於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第9】 松ノ下 はずみ 議員	
質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 経済対策について	<p>① 中東紛争の影響が市民生活に現れているか伺います。</p> <p>② 曾於市の各産業に中東紛争の影響がどの程度現れているか、産業ごとの影響を伺います。</p>	市長
2 ジビエ加工施設について	<p>① 市内各地域ごとの猟銃、わな猟、それぞれのハンターの人数を伺います。</p> <p>② 過去3年間の捕獲数と年度ごとの補助金の総額を伺います。</p> <p>③ ジビエ加工施設の設置に向けた現在の進捗状況について伺います。</p>	市長
3 本市の農業の在り方について	<p>① 市内の水田、畑の耕作放棄地の面積とそれぞれの全体に対する割合を伺います。</p> <p>② 市として耕作放棄地対策を考えているか伺います。</p> <p>③ 農業公社の仕事内容を伺います。</p> <p>④ 農業公社が耕作放棄地対策の要となることが期待できないか伺います。</p> <p>⑤ 市内耕作者（経営者）の畜産、園芸それぞれの平均年齢を伺います。</p>	市長

令和8年第2回 曾於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第10】 山中 雅人 議員	
質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 本市の農業振興策について	<p>① 子牛価格の変化が激しく、最近は上昇基調にあるものの、5月7日の南日本新聞の報道によると、飼料価格上昇や出荷額低迷による離農や廃業に伴う供給量の減少が背景にあるとされている。過去5年間の子牛価格と本市における頭数推移、損益分岐の価格はどうか変化しているか。</p> <p>② 平成5年に16,628頭あった頭数も平成30年に11,652頭と減り、令和8年現在で10,000頭を割る状況になりつつある。各戸が大規模化しても追いつかない状況であるが、本市の対応は。</p> <p>③ 新年度から導入しているスマート農業機械導入推進事業の利用状況は。</p>	市長
2 ごみ処理について	<p>① 本市も高齢化が44%に達しており、ごみを持ち込むことが困難な世帯も増えている。特に粗大ごみは搬入が大変で、免許を返納した高齢者の方の大きな負担になっている。志布志市や大崎町では手数料を取ったうえで粗大ごみを玄関まで回収するサービスがあるが、本市はそのような検討はないのか。</p> <p>② 大崎町や志布志市が分別に大きな力を入れているが、その分、ごみを本市のクリーンセンターに持ち込む人も増えていると聞くが、統計などはあるのか。</p> <p>③ 現場で確認する際も免許証などは手間であり、自治会のごみステーションの利用を促し、クリーンセンターの混雑緩和をするための整理券などの発行はできないのか。</p>	市長

<p>3 女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画について</p>	<p>① 市長も選挙の際に言及した消滅可能性都市に本市が指定された問題であるが、その中では29歳から39歳までの女性の割合が低いことが理由とされている。女性に選ばれる街にしていく政策立案を行うためには、執行部の管理職の登用割合を増やすのも効果的な対策とも考えられる。都城市では令和7年度には女性管理職員の割合が30.3%、部長級では38.9%と近隣自治体でも取組の成果を出している自治体が増えている。本市が制定している女性職員に関する特定事業主行動計画が令和8年3月末で期限となるが総括は。</p> <p>② 令和4年の第一回定例会では、同様の質問をした際に、課長級だけでなく、課長補佐や係長級に女性職員を登用していくことが重要だとの答弁があったが、どのような対策を実施したのか。</p> <p>③ 塩田副市長が就任されたことは、今後の女性職員が管理職に就く上でのモデルケースになるのではとも思えるが、今後の役割はどのようなものが考えられるか。</p>	<p>市長</p>
--------------------------------------	--	-----------

令和8年第2回 曾於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第11】 瀬戸口 恵理 議員	
質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 学びの共同体の理念に基づいた教育行政について	<p>① 本市が進める「学びの共同体」の理念に基づく授業（学校）改善の内容、進捗状況等は。</p> <p>② 令和7年10月に曾於市教育センター研究協力校である柳迫小学校にて、授業公開・授業協議会を開催し、学びの共同体の提唱者である佐藤学氏を招いての講演も行われ大盛況だったようだが、内容やその後の効果についてどう捉えているか。また、今後も同様の授業公開・授業協議会を行う予定はあるか。</p> <p>③ 先進地である埼玉県飯能市立飯能第一中学校では、学びの共同体の理念に基づいた改革により、生徒同士や先生・地域との関係性が良くなったことで、結果的に不登校の改善にもなったと伺った。本市においてもその傾向が見られるか。</p> <p>④ 「学びの共同体」の理念に基づいた改革を進める上で、どのような課題があるか。</p> <p>⑤ 市長が目指す「子どもたちが帰ってきたくなるまち」の実現にも繋がると確信するが、市長の見解は。</p>	市長 教育長
2 災害に強いまちづくりについて	<p>① 本市の防災への取組は。</p> <p>② 防災士育成への取組は。</p> <p>③ 県認定「地域防災推進員（地域防災リーダー）」への取組は。</p> <p>④ 曾於市社会福祉協議会の主催により、災害ボランティアセンター運営支援者育成研修会が開催されたが、今後も同様の取組は予定されているか。</p>	市長

	<p>⑤ 今後、どのような形で災害に強いまちづくりをしていく予定か。</p>	
--	--	--